

保津・むらカフェプロジェクト チーム

チームテーマ

保津・むらカフェ（フリースペース）「保津川屋酒店」を使って、保津のむらおこしを考えよう！

<https://www.pref.kyoto.jp/chiikikokyo/gakusei/r6gakuseiboshu.html#team>

主な活動場所

亀岡市保津町 元「保津川屋酒店」店舗部分

チーム紹介



【学生メンバー】

富永光莉・守屋志保・陶山ひなた・
森下 楓・高寄美佳・中村あや

【団体担当者】

中野恵二 さん



【雰囲気】

出身地も学校も違う6人でしたが、地域の雰囲気に
懐かしさを感じられ、ゆったりと和める感じでした。





里の行列で子供たちの贈っている「トウクワイヤンノウ」や「マツダイラク」って、いったいどんな意味なの？
 葉書、お茶送しして！ 知っておきたいの？ ポコペンへ

竹やうりの遠くには、奥山や峠を越え大に往復の足取り。竹やうり手をして
 ていながら、木まじりながら山々の奥山奥の山で竹やうりと暮らす
 奥山奥地の奥の奥の奥の奥に暮らす竹やうり手さん

主催：保津・むらカフェプロジェクト

このイベントは、令和6年度 京都府地域交流プロジェクト交付金事業で

お問合せ 中野 (携帯 090-3820-7510)

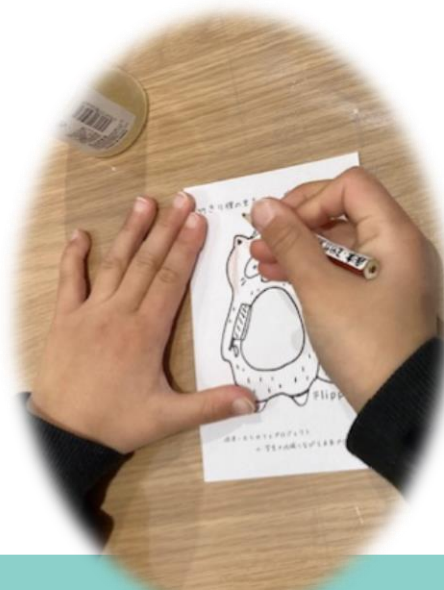




私たちが感じた魅力

5

- ・四季を通じて、景色がきれいでした。
- ・歴史的建造物も数多く残り、それらの説明をしてくれる地域の方もおられ、地域の一人一人がまちづくりに参加しているのを感じられた。
- ・保津・むらカフェプロジェクトの代表の中野さんの知り合いが多いのにびっくりしました。



感想

6

- ・亀岡市を眼下に見下ろし、歴史・文化に溢れた素敵な場所が見られて良かった。
- ・2023年度は、15名の方が移住されたと同じ、魅力的な街であると感じた。

